

記入例

様式第61号

各項目の記載事項説明（中間処分業者用）を必ずご確認のうえ、ご記入ください。

また、自社システムで管理している等の理由で、この様式での報告に支障がある場合は、必要事項（①～④）を記載し、⑤の一番上の欄に「別紙一覧のとおり」と記載し、別紙一覧を添付してください。

①

提出年度の和暦

提出年の和暦

報告書（令和〇年度）

令和〇年▲月□□日

（あて先）川口市長  
昨年度の和暦

別表3参照のうえコードを入力すること。石綿含有や水銀使用製品の場合は、ハイフン以下のコードも入力すること。

再生利用した場合、再生利用した分を引いた量を入力する。全量再利用の場合、「0」となる。

川口市〇〇1-2-3  
〇〇工業株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇  
（法人にあっては、事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）  
電話番号 〇〇〇-×××-□□□□

担当者名

令和△年度の産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の処分実績について、川口市廃棄物の減量及び適正処理に関する規則第70条第2項の規定により、次のとおり報告します。

許可の種類	② 業廃棄物処分業（破碎・圧縮梱包）			許可年月	③ 令和2年2月12日	許可番号	④ 125xxx-xxxx				
産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類 ⑤	委託者（排出事業者又は処分業者）			処分			受託者				
	許可番号	氏名又は名称	受託量（単位t）※	処分方法	処分量（単位t）	処分後量（単位t）	許可番号	氏名又は名称	委託内容	委託量（単位t）※	
		住所		処分場所			住所				
廃プラスチック類		〇〇化学㈱ ※1 A4	500	焼却 ※4 1	500	50	xxxxxxxxxx	㈱××処分	管理型埋立	50	残
※3 6 - 1	埼玉県川口市××1-1	※2 54		埼玉県川口市◇◇5-1	※2 54	□□市××1-1	※2 10				
木くず		××建設㈱ ※1 A5	500	破碎 ※4 1	500	500	xxxxxxxxxx	㈱〇〇処分	焼却	500	再
※3 6 -	東京都足立区△△1-2-3 ⑥	※2 13		埼玉県川口市◇◇5-⑦	※2 54	〇〇市××2-⑧	※2 11				
がれき類	011xxxxxxxx	㈱〇〇処分 ※1 A8	50	破碎 ※4 1	50	0					
※3 8 -	埼玉県川口市▽▽4-1	※2 54		埼玉県川口市◇◇5-1	※2 54						
※3 -		※1		※4							
※3 -		※2									

再委託した場合は「再」再委託以外の場合は「残」と入力。

他の収集運搬業者から再委託を受けた場合、当該事業者の許可番号を入力すること。

別表2参照のうえコードを入力すること。コードの記載間違いが多いので注意してください。

処分後の産業廃棄物の処分委託先を入力する。全量再生利用した場合は空欄となる。

【重要】必ず提出すること。

別表3参照のうえコードを入れること。石綿含有や水銀使用製品の場合は、ハイフン以下のコードも入力すること。

昨年度の和暦

産業廃棄物処理施設報告書（令和△年度）

産業廃棄物・特別管理産業廃棄物処理施設の種別	処分した産業廃棄物の種類及び平均処分量（単位t）				処分後の産業廃棄物の処分量（単位t）						
	A 廃プラスチック類		A 木くず		A がれき類		種類	排出量	処分方法		処分量
	※3 06	-	※3 08	-	※3 16	-			※3	-	
廃プラスチック類の焼却施設 ※5 52	500						廃プラスチック類 ※3 06 -	50	埋立	※4 2	50
木くずの破砕施設 ※5 09		500					木くず ※3 08 -	500	焼却	※4 1	500
がれき類の破砕施設 ※5 51				50			※3 -			※4	
							※3 -			※4	
							※3 -			※4	
							※3 -			※4	
							※3 -			※4	
合計	500		500		50			550			100

別表5参照のうえコードを入力すること。

備考

- 1 処分した産業廃棄物の種類をA欄に記入して、それぞれの種類ごとに年間の処分量を記入すること。
- 2 処分した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじん等が含まれる場合は、A欄にその旨を記載すること。

※3 別表3の産業廃棄物の種類コードを参照して、種類コードを記入すること。  
 ※4 別表4の処理方法コード表を参照して、処理方法コードを記入すること。  
 ※5 別表5の産業廃棄物処理施設一覧表を参照して、施設コードを記入すること。  
 数量を記入する欄ではtに換算して記入すること。（品目別重量換算係数一覧参照）

各項目の記載事項説明（中間処分業者用）

番号		中間処分業・最終処分業	
		項目	説明及び記載内容
①	表題の年度	提出年度の和暦	
②	許可の種類	許可証に記載されている事業の範囲（例：破碎、減容溶融、圧縮梱包、圧縮切断、切断など）	
③	許可年月日	産業廃棄物処分業の許可を受けた年月日	
④	許可番号	許可番号（11桁の数字）	
⑤	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の種類	別紙一覧での報告の際は、「別紙一覧のとおり」と記載してください。 廃プラスチック、木くず、がれき類など（特別管理）産業廃棄物の種類 処理した産業廃棄物に石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物又は水銀含有ばいじんなどが含まれる場合は、その旨も記載 ※3欄に産業廃棄物の品目のコードを別表3から選択	
⑥	排出委託者（排出事業者又は処分業者）	排出事業者とは、廃棄物を排出し報告者に処分を委託した者 処分業者とは、報告者に中間処分を再委託した者	
		許可番号	報告者に再委託をした者の許可番号（11桁の数字） 再委託をしていない場合は、空欄。
		氏名又は名称	委託者の会社名など 排出事業者の場合、※1欄に排出事業者分類のコードを別表1から選択
		住所	廃棄物の排出元（排出事業場・作業所など）の所在地 ※2欄に都道府県固有番号のコードを別表2から選択
		受託量(単位t)	委託者から、報告者が受託した廃棄物量をt（トン）表記で記載 受託量はm <sup>3</sup> ではなく、t（トン）に換算し記載
		※	他の処分業者から再委託を受けたものについて「再」と記載
⑦	処分	報告者が処理を行った内容について記載	
		処分方法	破碎、切断、圧縮梱包など川口市から許可を受けた事業の範囲の処理方法を記載 ※4欄に処理方法のコードを別表4から選択
		処分量（単位t）	処分前の廃棄物量をt（トン）表記にて、値を記載 処分量はm <sup>3</sup> ではなく、t（トン）に換算し記載
		処分後量（単位t）	処分後の廃棄物量をt（トン）表記にて、値を記載 処分後量はm <sup>3</sup> ではなく、tに換算し記載 中間処分を行ったが、減量していない場合は、処理前と同量を記載 また、再生利用となった場合、再生利用した分を引いた量を記載、全量再生利用の場合は、「0」を記載
	処分場所	処分を行う場所（川口市から許可を受けている事業場）の住所 ※2欄に都道府県固有番号のコードを別表2から選択	
⑧	受託者	受託者とは、報告者が処分を行った後に、最終処分などの委託を受けた者 報告者が中間処分後のものを、そのまま全量再生利用した場合には空欄となる。	
		許可番号	受託者の許可番号（11桁の数字）
		氏名又は名称	受託者の会社名など
		住所	受託者の本社などの住所 ※2欄に都道府県固有番号のコードを別表2から選択
		委託内容	受託者が行う管理型埋立や焼却などの処理方法
		委託量(単位t)	委託者から中間処分の委託を受け報告者が受託者に、処理を委託した廃棄物量をt（トン）表記で記載（処分後量と同量） 委託量はm <sup>3</sup> ではなく、t（トン）に換算し記載
	※※	処分により生じた産業廃棄物の処分を委託した場合には、「残」と記載 処分を再委託した場合には、「再」と記載	
⑨	別紙	各処理施設を記載（縦の列）し、各産業廃棄物の種類を記載（横の行）し、それぞれ処理した量を記載すること。また、※2欄は別表2から、※5欄は別表5から、それぞれコードを選択。	